

浅間尾根

Hiya

期 日：2019年11月9日（土） 晴れ

コース：武蔵五日市駅 8:10～浅間尾根登山口バス停 9:00/09→数馬分岐 10:00→人里峠 11:10→浅間嶺展望台 12:00/40→時坂峠 14:10 →松沢の滝入口バス停 14:55/08～武蔵五日市駅 15:30

参加者：Hiya、Ko、Shi

奥多摩の山は今回台風の影響を受けたが、浅間尾根道は通行に支障がないことを村役場に確認し予定通り実施。



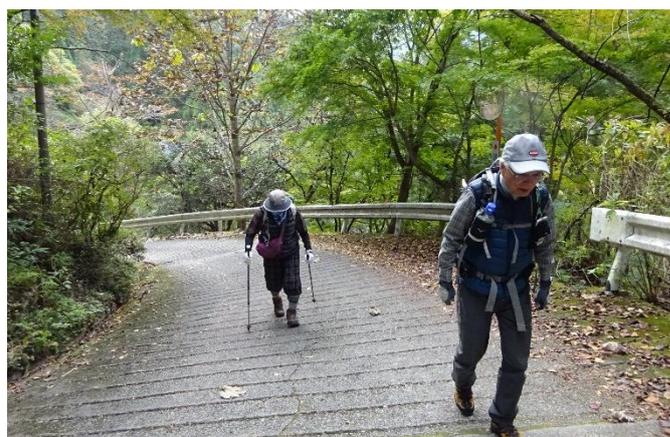
都民の森行きバスは3便増発の賑わい



浅間尾根登山口で降りたのは僅か、多くは都民の森へ



南秋川の橋を渡る。尾根までは300mの登り



先ずは舗装された急な浅間坂を登る



森に入って登山道を登る



数馬分岐で風張峠からの浅間尾根道に合流
ここからは緩やかな登り下りが東に向け続く



縦走の前半は植林帯が多い



林の中の人里（ヘンボリ）峠
読み方は朝鮮語由来説があるようだ



北側斜面の伐採地の向こうに御前山、大岳山の大パノラマが広がる



尾根を巻く本道から離れ尾根道を登る



この辺りが浅間嶺山頂（903m）の筈だが
展望悪く山頂標識も見当たらない



少し下ると小さな社



更に少し下ると広場。休憩所、トイレがある



東の小高い丘を登ると浅間嶺展望台
多くの登山客で賑わう



山名標柱はこちらにあるが、
通常ある標高の記載がない



展望台では大展望を楽しんだ。
特に北側が素晴らしい。御前山、鋸山、大岳山、そして馬頭刈山に至る山並みが横一杯に広がる。
南側は、笹尾根は見えただが、丹沢、富士山は霞んで見えなかった。
春には桜とカタクリの花が楽しめるそうだ。



松生山山腹をトラバース気味に下ったあと
瀬戸沢源流の谷に入って石畳を下る



森の中に突然大きな一軒家。元禄年間に馬宿を始めた
家で昨年まで蕎麦屋を営んでいたという



浅間尾根道の終点 時坂峠
ここまで400m下り、あと250m下る



予定時刻に弘沢の滝入口に到着。本日6時間の山旅
弘沢の滝は遊歩道通行止めのため行けず。

浅間尾根道

奥多摩の主稜線から風張峠でわかれ、東西にゆるやかな上下をくりかえすのが浅間尾根です。浅間という名称は富士山の見られる所につけられており、この尾根からも時々、富士山が遠望できます。

この尾根につけられた道は、以前は南・北両秋川沿いに住む人々が本宿・五日市に通う大切な生活道路でした。また、甲州中道とよばれ江戸と甲州を結ぶ要路となっていたこともあります。昭和の初め頃までは檜原の主産物である木炭を積んだ牛馬が帰りには日用品を積んでこの道を通っていました。



関東ふれあいの道

歴史の道

このコースは、上川苔から浅間尾根へのぼり時坂峠をへて本宿に至る延長8.0 Kmのものです。檜原村の中央を通り地形も比較的ゆるやかな浅間尾根道は、中甲州道とも呼ばれ古代から重要な交通路となっており、江戸時代頃は馬によって木炭等の生産物を運び出し、日用品等を運び入れる要路として、村人のほかに小河内や西原の人たちも利用していました。